

シーニックバイウェイ「秀逸な道」選定候補区間(案)

【ルート名】 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【コンセプト: 覆道から覗く映画のコマ送りのような海岸線の風景と歴史の風を感じさせる黄金道路】

※嚆矢: 物事のはじまり。最初。

太平洋を望み、切り立った岸壁沿いに海岸線を走る通称「黄金道路」。蝦夷地の道路開削の嚆矢といわれるこの道を拓いたのは幕臣・探検家である近藤重蔵。北海道初の開削に携わったアイヌ民族や当時の人々の思いが吹き抜ける黄金道路の痕跡を探して、歴史ロマン漂う海岸ロードをたどる旅。

【区間概要】

●道路種別: 国道336号 ●位置: 広尾郡広尾町西2条1丁目～広尾郡広尾町字ピタタヌンケ ●延長: 15.0km

●取組方針: 「黄金道路」(国定公園) の美しい海岸線や覆道風景だけでなく、険しい道を切り開いた痕跡が残る旧道や碑等から、北海道初の開削道路の歴史を感じられる価値のある区間と認知してもらい、地域活性の資源とするため、地域・行政と連携した景観維持活動やシーニックカフェ、道の駅、SNSなどで「秀逸な道」の取り組み・区間、「黄金道路」の整備や歴史等の背景を分かりやすく情報発信する。また、視点場として区間の起終点であるパーキングを「ビューポイントパーキング」に登録して周知・PRを行い誘客を図る。



●景観資源
内湾の連続した覆道(広尾町)



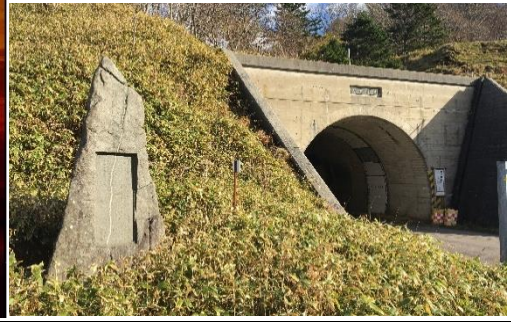
●観光資源
フンベの滝(広尾町)



●景観資源
太平洋の眺望(広尾町)



●観光資源
旧道に残る重蔵隧道(広尾町)



【周辺観光資源とのパッケージ化】

●観光資源
シーニックカフェ広尾サンタランド(広尾町)



●観光資源
大丸山展望台からの眺望(広尾町)



●観光資源
十勝神社 十勝最古の神社/道を切り開いた記録が残る【東蝦新道記】(広尾町)



●観光資源
黄金道路の歴史を伝える碑
黄金道路完成記念碑/広尾橋駐車帯(広尾町)



●観光資源
広尾町海洋博物館・広尾町郷土文化保存伝習館/黄金道路開削時のジオラマ展示(広尾町)



(c) NTT空間情報株式会社